**第２８回登別市市民自治推進委員会　ぬくもり部会議事録**

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和２年７月２２日（水）１５時００分～ |
| 開催場所 | 登別市役所本庁舎　２階　第１委員会室 |
| 出席者 | （部 会 長）田渕　純勝（副部会長）雨洗　康江（部 会 員）今　順子、鎌田　和子、佐藤　画美（庁内委員）沼田　久人、中井　功（事 務 局）大越　智輝、塚崎　翔太 |
| 議題 | 正副部会長の選任及び今後の部会の取り組み内容について |

【正副部会長の選任について】

・田渕委員が部会長を、雨洗委員が副部会長を引き続き務めることとなった。

【今後の部会の取り組み方針について】

・今後の進め方について話し合う上での前提として、平成２８年度に市民自治推進委員会が立ち上がる際にも話が出たとおり、登別市市民自治推進委員会は市に対するご意見番や市に対して物申す場所ではなくて、市や国の取り組みで足りない部分を市民の力で何とかしようという組織。

・ぬくもり部会の部会員５人で何かをしようとしても限界があるので、それぞれの所属団体等の力を借りながら自分達でできることを探る。

・過去には市民自治推進委員会で市職員を呼んで市の事務事業の批評に終始し委員会本来の取り組みが進展しなかったため活動が下火になったという経緯があった。今度はそうならないよう、自分たちでできることを探るのが望ましい。

【今後の部会の取り組み内容の案等について】

・新型コロナウイルス感染症の拡大により家で過ごす時間が増え、虐待のおそれが高まっている。しかしながら社会問題としてはまだあまり認識が高まっていないことから、委員の推薦団体が虐待について学ぶ機会をつくってはどうか。

・児童のほか、障がい者や高齢者が虐待の被害を受けることも危惧される。

・普段子どもと接する機会があまりなく、更に虐待を目にする機会は皆無に等しく、目にしたとしてもどこまで介入したら良いのか分からない。

・コロナ禍で地域の交流の場が失われる中で虐待の被害者が経済的にも追い込まれ、声を上げることもできなくなることが危惧される。

・ことしは児童相談所が虐待を疑った件数が増えている一方、泣き声の大きな子どもの場合は誤解による虐待通報も行われているため、慎重な対応が必要である。

・部会員から虐待に関する意見が多く出ており、また虐待が社会問題として重視されていること、第３期基本計画の中でも地域全体で早期発見に努めることとされていることから、虐待防止を今後の取り組みのテーマとする。

・多くの市民に虐待について知っていただくため、保健福祉部こども家庭グループ職員などを講師としたセミナーを実施する。

・最初にぬくもり部会の部会員が自ら学んで知識をつけ、のち各部会員の推薦団体においてセミナーを実施する。

【登別市まち・ひと・しごと創生総合戦略について】

・同戦略の第１期の総括について市の担当部署から説明を聞きたい。

・第２期の実施内容にはコロナ禍を受けた変更が加えられるべきと思うが、その点についての市の見解を聞きたい。

・上記２点について事務局が総務部企画調整グループに確認する。

【次回について】

●日程：８月２６日（水）１５時３０分～